

令和4年度 第4回伊達市ケーブルテレビ運営審議会 議事録

令和4年11月2日(水)

午後2時～午後3時

於 ふれあいセンター

2階 映像研修室

○ 参集者

- ・運営審議会委員 計6名
 - ・講師 岡崎祐デジタル変革課長 計1名
 - ・事務局
 - 佐藤芳彦総務部長 菅野郁子秘書広報課長
 - 鈴木健光ケーブルテレビ室長 佐藤哲雄ケーブルテレビ室業務係長 計4名
- 合計 11名

菅野秘書広報課長

定刻より早いですが、お揃いになりましたので始めたいと思います。
本日は、お忙しい中、出席頂きまして、有難うございます。
これより、令和4年度第4回ケーブルテレビ運営審議会を始めます。
本日の進行を務めます秘書広報課長の菅野と申します。
それでは、お配りいたしました資料により進めて参ります。
会長より、あいさつ、よろしくお願い致します。

会長

改めまして、みなさん、こんにちは。
朝晩寒くなって体調管理が難しくなってきた時期となってきました。
運営審議会、3回目を受けて、本日答申案の検討となりました。
今日は、DXの話を受けた後、答申案のまとめとしたい。
本日は、忌憚のない意見を頂きたい。どうぞ、よろしくお願い致します。

菅野秘書広報課長

14時現在、運営審議会規則第6条3項規定であります「委員8名の中、6名の参加」という事で、過半数に達していますので、会議が成立している事を宣言いたします。

それでは、続きまして、議事に入らせて頂きます。

議長につきましては、運営審議会規則第5条第3項によりまして、「会長が運営審議会を代表し、議事、その他会務を総理する」となっておりますので、会長、よろしくお願い致します。

会長

それでは、DX という事で事務局から説明をお願いします。

鈴木ケーブルテレビ室長

今回、伊達市で進めているデジタル変革について、総務部岡崎祐デジタル変革課長より説明を申し上げます。伊達市の広報紙を使って説明したいと思います。

説明の後、質疑を受けたいと思います。

岡崎デジタル変革課長

説明の時間を頂きまして感謝申し上げます。

まず、DX(デジタルトランスフォーメーション)について、背景を説明させていただきます。

自治体の問題、2040年問題。1972年から1975、1976年頃に生まれた方が、65歳を迎える。高齢者人口の増加と生産者人口の減少。社会保障費の増大。税収の減。

多様なニーズを充足し、地域を持続していく仕組みづくりのためのデジタル変革。

今年度からデジタル変革課が発足した。

今年度の目標として、色々なサービスを実施している。

内容は、役所に来なくても、手続きができる。スマートフォンからできる仕組み作りをしている。各地区で、スマートフォンの説明会を開催している。

お悔やみの手続きについて、保原本庁舎におくやみコーナーを設置した。

業務の見直しとして、お悔やみ関係の業務をワンストップで実施している。

RPA というものがあり、これは市役所内部の業務に関する事である。

決まった業務で職員の業務の効率性を上げるものに取り組んでいる。

新人、中堅、ベテランのデジタル人材の育成を策定している。

スマホ教室。

高齢世代に向け、初歩的な教室を令和4年9月から来年2月まで実施。

保原、梁川は終了。来週、霊山、月舘。年明けは、伊達で実施。

地域のデジタルを支える人材育成。

デジタル活用サポーター育成を4月から8月まで開催。

内容は、マイナンバーカード、ネット詐欺の対応。

地域で、できる人が支えるというような形にしていく。

役所に来なくても手続きできるような、仕組みづくりをしていく。

オンラインで、お悔やみコーナーの申し込みができる。
スマホから、QRコード読み込んでいただくと目で見て分かる。

LINE公アカウント、伊達市のものがある。
チャットボットがあり、24時間、365日対応。
伊達市のラインの公式アカウントからできる。

本人認証が必要なものは、今後、マイナンバーカード、保険証などを活用し、業務メニューを増やしていく。

会長

ありがとうございました。ご質問ございませんか？

委員

掲載されている内容は、最低限、ここ数年でやるべき事でしょうけど、5年後、10年後、伊達市として、デジタルをどのように活用しているのか聞きたい。

岡崎デジタル変革課長

情報発信については、多様化している。情報の収集、個人の発信など。
今のところ、line、Facebook、Instagram、Twitter、YouTubeで発信している。
映像についても、最新のものを活用したいと考えており、手段としては、一つに限らずと考えている。

委員

それを、やるのは当然。今は、話しかければ何でもできる。
それを独居高齢者宅に置く。そうすれば、「だてテレビ」の自主制作番組を見られる。
逆に、伊達市では独居高齢者の状況がわかる。2歩先の状況は、考えていないのか？

岡崎デジタル変革課長

部署の方から、アイデアは出ている。民間でやっている事もある。
役所の仕事の流れの中で、費用対効果があり、どのように進めていくか、持続的に進めていけるかなど、様々な観点から慎重に成らざるを得ない部分がある。
委員のお話しされたお考えも持ち合わせています。

行政のオンライン化を将来できるようにしている。
スマホやタブレットをお持ちの方であれば、事前に予約は必要ですけど、顔を見て、

状況を見て、関係部署と協議しながら、やる事は可能であると考えている。

今は、本人同意のもとで活用できるものがある。

自分で知りたい事、属性に応じて知る事ができる。

「検診の時期が、こうですよ」、「補助の対象ですよ」とか、個人で情報がいただけるというようなものもある。個人の同意を得て進めていくのも進めていきたい。

委員

デジタル変革課側から見て、「だてテレビ」はどのように見えているのか？

岡崎デジタル変革課長

「だてテレビ」の状況は、ケーブルでテレビを見ているという状況。

YouTube で配信して視聴するのも、可能かと思いました。

今、市販されているテレビは、YouTube、Amazon とかが最初から組み込んである。

そういったテレビが一般化されれば活用して、市の情報を配信可能かと思います。

委員

伊達市で、光ファイバーが届いていない地域はあるのか？

岡崎デジタル変革課長

ないです。平成 21 年度、ICT 交付金、地域情報基盤。

光ファイバーは民間がやるものであるが、民間は、採算性がとれない中山間地はやりたがらない。そのため、光ファイバーを伊達市が民間に貸し出すという形を取った。

交付金により自治体で整備した。梁川、保原の一部。霊山、月舘が対象。

会長

デジタル変革の概要というのが、理解されたと思います。

次の「伊達市ケーブルテレビについて」、事務局から説明をお願いします。

鈴木ケーブルテレビ室長

第 3 回の運営審議会で、委員の皆様よりご意見をいただき、答申案の方向性をまとめさせていただきました。

会長

答申の方で、諮問事項の 3 つの事項についてまとめてある。事務局の方から、答申案を朗読をお願いします。

鈴木ケーブルテレビ室長

～ 答申案、全文、読み上げる。～

会長

以上、有難うございました。内容についていかがでしょうか。

委員

まずは、文言のところでした。「小中学生の児童生徒、一人ひとり」
それから、4行ぐらい下のところ。「テレビの受信」という表記は必要ないのでは。
次の段で、テレビ視聴を説明していて、重複をしている。
また、スマホでテレビを受信している人は、ほとんどいない。

会長

語句を統一するという事で、ギガスクール構想で、「児童生徒、一人ひとり」の表現は統一したい。その段落のスマートフォンのところ、放送の受信のところですね。そこは、削除してもよろしいのではないかという意見でした。

事務局の方、いかがでしょうか。

鈴木ケーブルテレビ室長

「テレビの受信の説明もあり、重複しているので」という事でお話がありました。
委員さんの意見で答申案を作成していくので、我々も削除してよろしいのかと思いません。また、ご意見を諮っていただければと思います。

会長

2ヶ所を訂正して、成案にしたいと思います。よろしいでしょうか？

「異議なし」という事なので、そのような事で進めたいと思います。

次に、1伊達市ケーブルテレビについて。何かご意見あれば、お願いします。

内容は、「テレビが受信できる環境を作ってください。」と、「負担のかからない形をお願いします。」といった事でした。

委員

これが、心配ですけど、ケーブルテレビやめて、受信機を付ける。

アンテナ補助しますとなると、補助対象になる家庭と見越して受信機を付けている家庭で不公平感が出ないかどうか、これが心配である。

会長

すでに、4K アンテナを上げて見ている人がいる。

市としては、その分について補助とか施策があるのかどうか、市としての考えをお聞かせ願いたい。

佐藤総務部長

今、現実にケーブルテレビは動いている訳で、何らかの事情で退会された方については、何らかの事情があったという事でありますので、ケーブルテレビに加入している方、約 2,800 の方を対象としている。伊達地域の 60%が加入している状況。

会長

だてテレビは、退会しないで、アンテナ建てている。

お宅の中で、アンテナ引き込んで、ケーブルテレビを見ている人もいるのでしょうか。

佐藤総務部長

ケーブルテレビは、基本的には1台なのですが、分配している人もいる。

調査して、中を見させてもらっていく事になる。

委員

お互いトラブルがなければいい。前回話しましたけれど、沢田団地。

沢田団地では、50 世帯で色々あったので、2,800 となると、色々な意見をお持ちの方もいるので、後にすればよかったとか。

最小限に収まるように考えて頂ければと思います。

会長

ケースバイケースは考えずに、基本的な考え方を答申していく。

ケースバイケースは、市の方で対応していくという事でよろしいでしょうか。

鈴木ケーブルテレビ室長

貴重な意見、承っておきます。

会長

続いて、2 自主放送番組について、ご意見等、頂きたいのですが、いかがでしょうか？

委員

今後進めていく中で、考慮に入れて欲しいのがある。インバウンドである。

イオンモールができて、外国人観光客が増える事も考えられる。

御殿場でそういうニュースがあった。あるかどうかわからないけど、伊達市を紹介する番組を入れていただければというのが要望です。

会長

デジタル DX とかありましたし、放送番組審議会での検討でよろしいのではないのでしょうか。伊達市としての番組制作の在り方でよろしいかと思えます。委員も一員でありますので。

委員

はい、結構です。

会長

3番目、多チャンネル、有料番組の件でした。

加入者の増加が見込めないという事から、委員全員の意見が一致したところでした。委員の皆さま、いかがでしょう。特にございませんか。

特に、無いようなので、答申の文言修正という事をもって成案と致します。

今後市長に答申しますが、その前に、皆さんに見ていただいて答申していきたいと思えます。あと、答申の日程についてですが、今後の日程を事務局より、お願いします。

鈴木ケーブルテレビ室長

答申案については、修正をいたしまして、早くて11月。

遅くても年内中に出していきたいと考えています。

会長

それでは、早くて11月中、遅くとも年内にということでありました。あと、

それから、市長に答申しますが

会長と副会長でよろしいでしょうか？

佐藤総務部長

他の諮問答申であれば、会長ですが、副会長も同席していただければと思います。

会長

それでは、会長、副会長も同席して、そのような形で進めたいと思えます。

本日の議題が終了しましたので、議長の座を終了させていただきます。

菅野秘書広報課長

会長、ありがとうございました。4番、その他という事で今後のお話ですが、答申がまとまった後、私たち事務局の方で、議員さんの説明。

あと、伊達地域の住民の方への説明。といったような流れで考えています。

会長

審議会は、これで終わりということによろしいですか？

菅野秘書広報課長

はい、4回、お集まり頂きありがとうございました。今回で終了となります。

あと、お二人で市長に答申となります。

それでは、閉会のあいさつを副会長お願いします。

副会長

それでは、第4回伊達市ケーブルテレビ運営審議会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。